

<白金標準、欧州の地政学的なリスクに ECB 理事会での利下げ観測・・・>



(出所：オアシス)

ウクライナ軍が米英製の「ATACMS」や「ストームシャドー」でロシア国内の軍事施設を攻撃し、プーチンロシア大統領はドローンを含む通常兵器による大規模攻撃を受けた場合の対応として、核による報復を可能にする大統領令に署名し、核兵器の使用基準を緩和し、翌日には新型中距離ミサイルでウクライナを攻撃し、欧州における地政学的なリスクの高まりを受けている。またドイツやフランスの総合 PMI・速報値が予想外に大きく低下した事を含め、12月に開催される ECB 理事会で 0.5%の大幅利下げ確率が 50%を超えるなど、ユーロは 2 年ぶりの安値を付けている。そのため欧州市場のリスクの高まりやユーロ安を受け、2 日間で 4738 円、4767 円と 4800 円を割り込む動きを見せている。

しかし今週は 26 日午後には WPIC 第 3 四半期 PGM 需給報告が発表される予定であり、9 月 10 日の第 2 四半期では 2024 年は 36 トンの供給不足予想を示した事から、更なる供給不足が拡大する様であれば、4800 円を超えて大統領選で示した戻り高値 4923 円に向けた高値追いを示す可能性は高まると思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が切り上げ、**シグナル** は下げ止まり。RCI でも **短期** が上昇し、**長期** は下げ止まっている。また日足が **10 日移動平均線** や **40 日移動平均線** の重なる水準で下げ止まっており、4800 円以下は難しく思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引1,527,000(2024年11月25日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約10倍から70倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚あたり往復76,560円(2024年11月25日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話03-5540-8423(受付時間:平日8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>